

教育目標「自主自立の精神をもち、こころ豊かでたくましい生徒」



玉川中だより



第6号

令和4年 8月26日発行

発行者 玉川村立玉川中学校長 板橋 敬史

☆ 2学期始まる

35日間の夏休みが終わり、昨日から第2学期が始まりました。

2学期は、登校日数が多い分、様々な学校行事が予定されております。特に学校祭は、子どもたちが楽しみにしているイベントです。日々の学習はもとより、様々な行事等を通して、子どもたちがまた一歩成長できるように、教職員一同、力を合わせて子どもたちの指導にあたってまいりますので、**2学期もご協力をよろしくお願いいたします。**

☆ 思いを新たに

8月25日(木)に、第2学期の始業式が行われ、全員が思いを新たに2学期のスタートを切りました。校長からは、「学年に応じて目標を決め、力を合わせながら、達成に向けた真剣な取り組みを続けてほしい。」という話をしました。各学年の代表の生徒からは「全員で高め合いながら生活していきたい。」や「一つ一つの行事を大切にしながら取り組んでいきたい。」「学習も部活動も精一杯頑張りたい。」という決意が発表されました。

すべての生徒にとって充実した2学期になることを願っています。



☆ 第2回奉仕作業お世話になりました。

8月21日(日)に行われた第2回奉仕作業におきましては、たくさんの保護者の皆様にご協力をいただきまして本当にありがとうございました。1回目同様、校舎周りが非常にきれいに整備されました。感謝の気持ちを持ちながら、学習や部活動を行います。



☆夏休み中も頑張りました。

7月22日(金)～24日(日)に、今年度の中体連県大会が開催されました。本校からは、卓球部女子個人とソフトボール部が県大会に出場し、熱戦を繰り広げました。

卓球競技は、白河市の白河中央体育館を会場に大会が行われました。個人戦に出場した3年生の大槻さくらさんは、1回戦を見事に突破し、**2回戦進出**を果たしました。2回戦では惜しくも敗れたものの、精一杯のプレーを見せてくれました。

ソフトボール競技は、郡山市のふるさとの森スポーツパークを会場に大会が行われました。1回戦の尚英中学校(相双地区1位)戦は打線が爆発し、見事12-2で勝利しました。2回戦は郡山第五中学校(県中地区3位)と戦いました。序盤に6点のリードを許すも逆転し、10-9で勝利しました。決勝進出をかけた準決勝は明健中学校(県中地区2位)と戦いました。こちらは相手の力が一枚上手で1-10で敗れましたが、見事に**県大会3位**の成績を収めることができました。試合後の子どもたちの表情はとてすがすがしく、やるべきことをすべてやりきったという笑顔を見せてくれました。



8月6日(土)には、郡山市のヨーク開成山野球場で福島県少年野球選手権大会が開催され、本校野球部が県南地区代表として出場しました。1回戦で県中地区代表の長沼中と対戦し、惜しくも5-7で敗れてしまいましたが、地区大会から見せてくれた粘りとチームワークで必死に戦う姿は、見る者の多くに感動を与えてくれました。



特設合唱部は、8月24日(水)に石川地区音楽祭に参加しました。1学期後半から本格的に練習を始め、夏休みも毎日のように練習を続けました。当日は、課題曲と自由曲の2曲を見事に熱唱し、**銀賞**を獲得しました。少ない部員数ながら、全員が心を込めて歌う姿が印象的でした。

